

焼津市文化振興計画策定に係わる文化団体調査結果

調査対象 焼津市文化連盟 焼津市音楽連盟

調査方法 インタビュー

焼津市文化振興計画策定の参考とするため、焼津市文化連盟及び焼津市音楽連盟に対し、インタビューを実施しました。

●団体が活動を行う上で抱えている課題について

会員の高齢化や、若い世代の加入がないことによる会員の減少、会員減少に伴う運営費の減少、練習や発表の場など会場の確保が難しいことがあげられました。

●今後の団体の取り組みについて

会員を増やすため、「自分たちの活動のPRに努める」ことや、「慰問など、活動を通じて地域貢献」、子どもたちへの啓蒙活動として「学校などに出向き、講座を通して伝統芸能などを伝え、文化芸術への興味・関心度の向上に努める」との声がありました。また、「発表の場が欲しい」との声が多く聞かれました。

●他の団体との連携について

他市町と連携で広域の文化祭の開催や、他団体との演奏会の企画・運営、交流など、市内はもとより市外の団体とも連携したりして、活動を高めている様子がうかがえました。

●焼津市の文化施設の役割として重要だと思うこと

「文化芸術の素晴らしさを感じることができる行事の企画・運営」、「本物の文化芸術を体感する場」、「プロのコンサートの開催も重要だが、日常的に、施設を訪れて利用できる環境にすること」、「練習・発表の場の提供」などの意見がありました。

●市が行っている文化事業や文化施設の管理運営の取り組みについて

市民文化祭や市民音楽祭、団体の活動を市民に広めること、展示スペースの充実、活動施設の確保や施設へのアクセスの良さの充実など、環境や活動に対する支援を求める意見が見られました。

●焼津市の文化・芸術を発展させるために重要だと思うこと

「市民が日常生活のなかで文化・芸術に触れ、携われる環境にすること」、「子どもからお年寄りまで、まず文化に触れること」、「地域おこし」、「公民館活動の充実」、「子どもたちに上質な文化・芸術を体験させること」、「学校教育で文化を育むカリキュラムの充実」とする意見がありました。

全体をとおして、文化団体における共通の課題は、「文化を担う人材の育成」、「活動の場の確保」、「発表の機会の充実」であることが分かりました。